

いまこそ授業を改善しよう オンラインでのアクティブ・ラーニング

北海道大学 高等教育推進機構
大学院国際広報メディア・観光学院
山田智久

第二部

オンラインでの アクティブ・ラーニング

～〇〇から〇〇へ～

今日のゴール

1. 他者との比較から自分の位置を知る。
2. 『これイイネ！』というものをひとつ見つける。

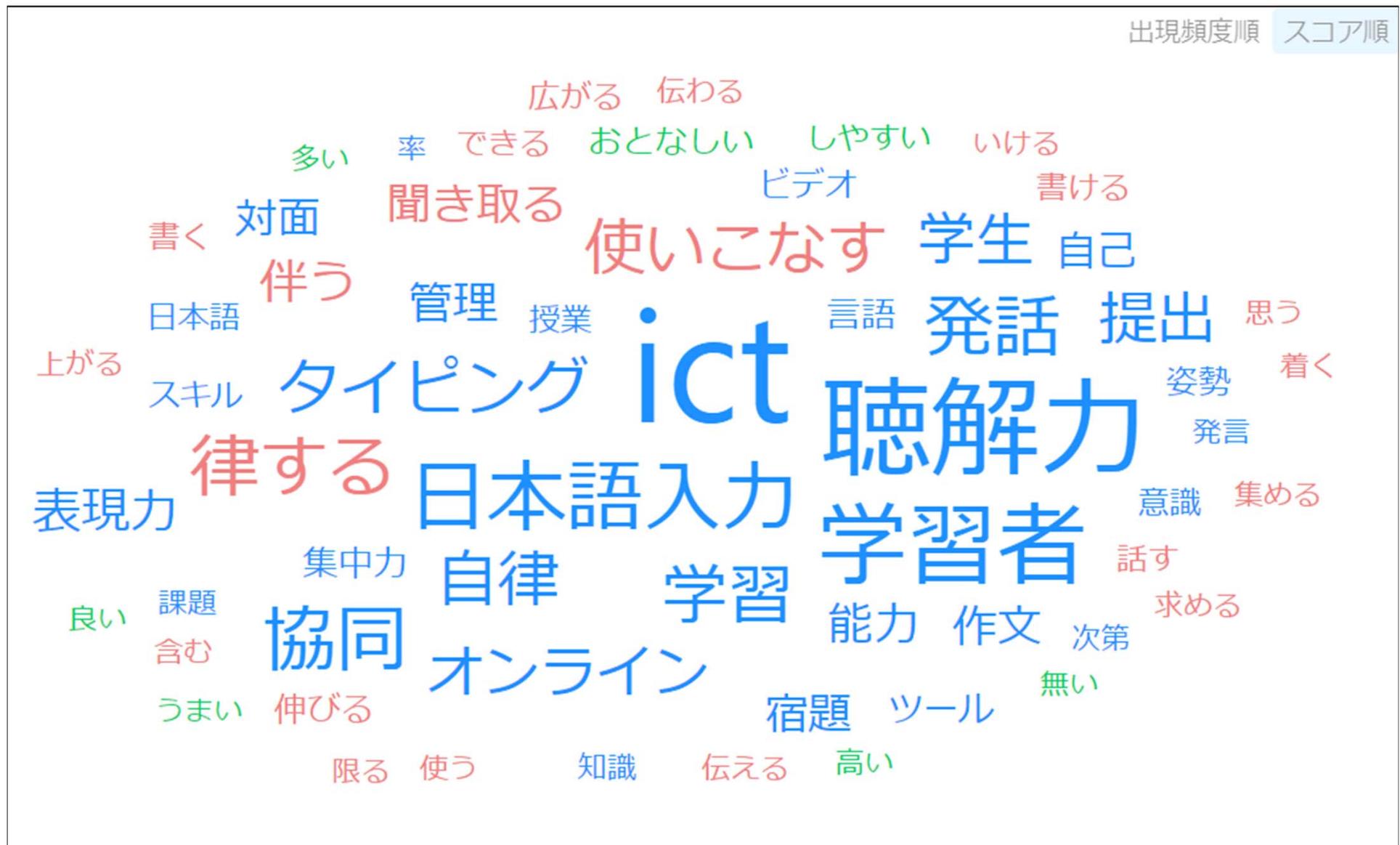
たとえば、

参加者のICTリテラシーって
どれぐらいなんだろう？

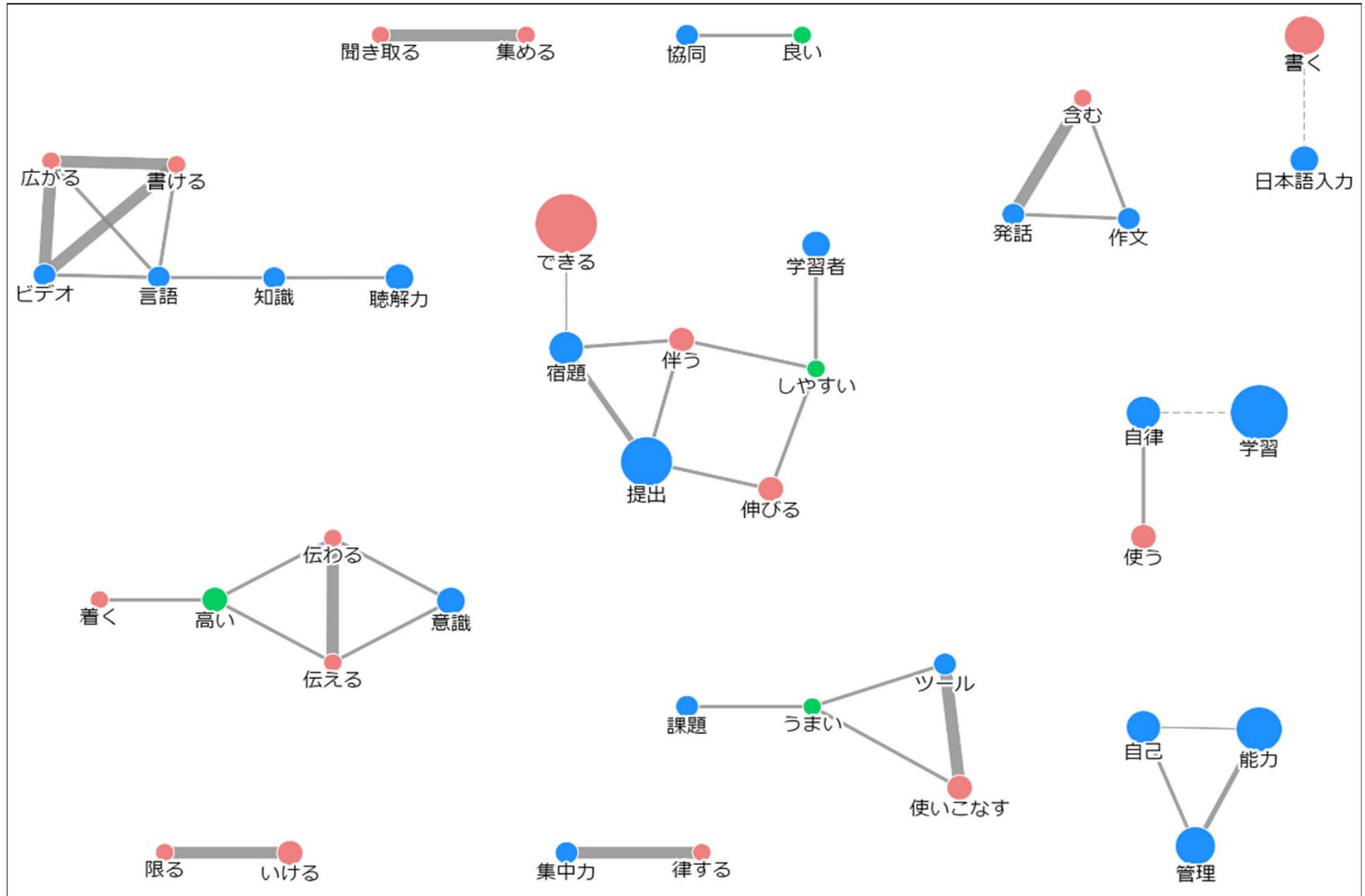
オンラインでどんな力が伸びる？（アンケート結果）

- ・ 「広がる」・・・①タイピングで漢字がたくさん書けるようになる ②ビデオ、特にインターアクティブなビデオの導入によって、より生きた言語体験ができる。
- ・ 抑制できる人。日本語ができない学生は授業中チャットなどを行っていることが多いと思います。
- ・ 自律性、自己管理能力
- ・ 探求心、自主性
- ・ 聴解力
- ・ 日本語を聞き取る力、ネットで情報を集める力（含ICTスキル）、自己管理能力（オンラインとオフラインを分けて自習する力？）
- ・ 協同する意識。助けを求める力。グループに貢献する意識。仲の良くないまたは知らない学生との協同。読む事と話す事。

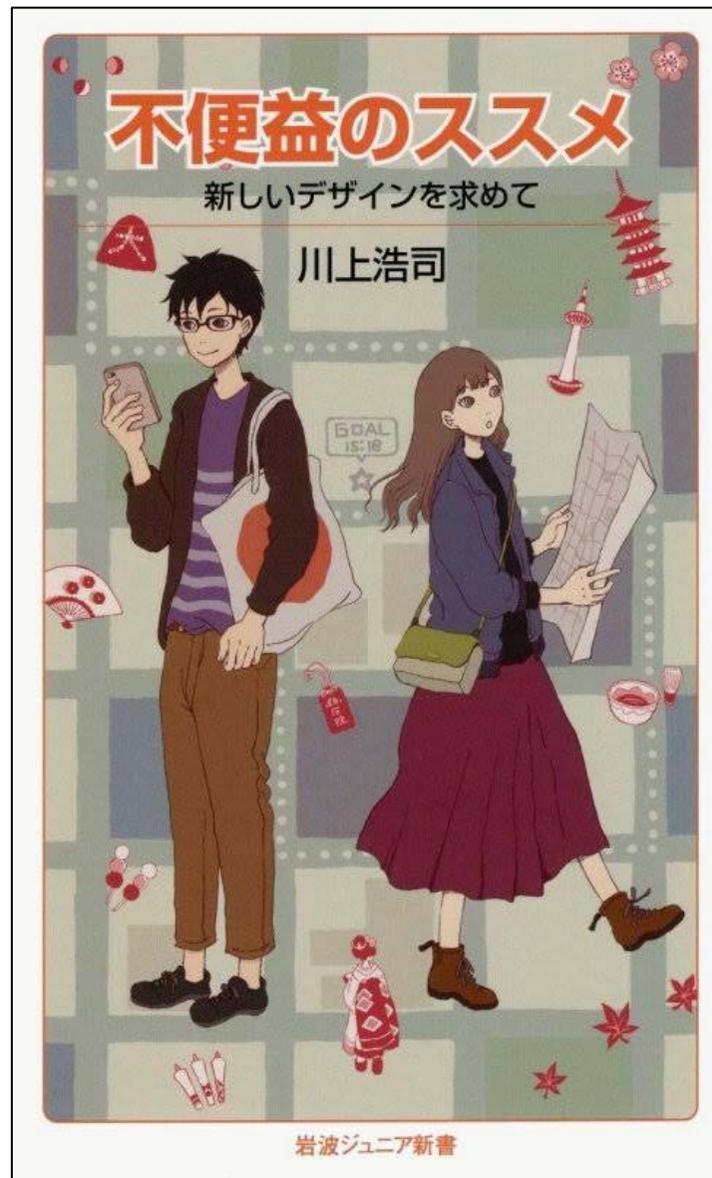
オンライン授業でどんな力が伸びる？



共起キーワード



不便益のススめ



学生の声（動画 3分）

<https://youtu.be/m7GLh0dxwdI>

「オンライン授業をつくる」とは
「既存の授業をオンラインに置き換える」
のではなく「オンラインで学生が学びやすい授業
を、もう一度つくり直すことなのだ」

－ 中原（2020：49）

参考文献 1

1. 赤堀侃司 (2014) 『タブレットは紙に勝てるのか』 ジャムハウス
2. Bonwell, C. C. and Eison, J. A. (1991) *Active learning: Creating excitement in the classroom*. Jossey-Bass.
3. Felder, R. M., & Brent, R. (2009) *Active learning: An introduction*. ASQ Higher Education Brief, 2(4), 122-127.
4. Guo, P.J., Kim, J. and Rubin, Rob. (2014) How Video Production Affects Students Engagement: An Empirical Study of MOOC Videos. *Proceedings of the first ACM conference on Learning @ scale conference*, pp.41-50.
5. 伊藤秀明 (2020) 「日本語学習コンテンツを組み合わせる視点 —分析・管理・活用の循環を目指して—」 山田智久・北村祐人・伊藤秀明・熊野七絵 『デジタルリソースのキュレーションを考える～事例と視点の共有を目指して～』 日本語教育学会秋季大会予稿集
6. J.M.ケラー著、鈴木克明 監訳 (2010) 『学習意欲をデザインする ARCSモデルの分類枠モデルによるインストラクショナルデザイン』 北大路書房
7. 川上浩司 (2019) 『不利益のススメ』 岩波ジュニア新書
8. ケヴィン・ケリー、服部桂訳 (2016) 『〈インターネット〉の次に来るもの』 NHK出版
9. 草間和博・吉田成章 (2020) 『ポスト・コロナの学校教育』 溪水社
10. Koehler, M. J., & Mishra, P. (2009). What is technological pedagogical content knowledge? *Contemporary Issues in Technology and Teacher Education*, 9(1), 60-70.
11. 中村清二・石垣雅也 (2020) 『コロナ時代の教師のしごと』 旬報社
12. Mary J. Hatch (2013) *Organization Theory: Modern, Symbolic and Postmodern Perspectives*. OUP.
13. 溝上慎一 (2014) 『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』 東信堂

参考文献 2

1. 文部科学省『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）』
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf（最終閲覧：2021年2月1日）
2. 中原淳（2020）「わたしが『オンライン授業』を実践した理由～『ポスト・コロナの学び』を想う」東洋出版社編『ポスト・コロナショックの学校で教師が考えておきたいこと』東洋館出版社，pp.46-53.
3. Neil Selwyn (2019) Should Robots Replace Teachers?: AI and the Future of Education (Digital Futures). Polity.
4. OECD (2020) A framework to guide an education response to the COVID-19 pandemic of 2020. https://www.hm.ee/sites/default/files/framework_guide_v1_002_harward.pdf（最終閲覧：2021年2月1日）
5. 高橋瞭介・桐原一輝・桐生徹・大島崇行（2020）「ドローンによる空間認識力を育むプログラミング教育の実践とその評価」『日本科学教育学会第43回年会論文集（2019）』pp.584-585.
6. 山田智久（2016）「日本語教師を取り巻くテクノロジーの変遷」吉岡英幸・本田弘之（編）『日本語教材研究の視点』くろしお出版、pp.174-194.
7. 山田智久（2017）『日本語教師のためのTIPS77 ② ICTの活用 第二版』くろしお出版
8. Tomohisa YAMADA (2020) Social Change and Roles of Japanese Language Teachers: How teachers in the future should manage technology? Actes du séminaire TIC de l'enseignement du Japonais en France du 14 juin 2019.
9. 横溝紳一郎・山田智久（2019）『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』くろしお出版
10. ウィギンス， Grant・マクタイ， ジェイ著、西岡加名恵翻訳（2012）『理解をもたらすカリキュラム設計－「逆向き設計」の理論と方法』日本標準